



幻の温泉を求めて 地図で見た温泉マークの 正体にせまる（小渋湯）

・地図に温泉マークが
大鹿村の地図を広げて小渋川上流の方を見ていくと温泉マークを見つけたことができます。近くで工事をしていますが温泉らしい物を見たことはありません。私たちは探しに行くことにしました。

・調査に出発

出発前に調べたところ昔の写真を手に入れることができ、私たちは写真と地図の温泉マークを頼りに現地へ向かいました。到着するとパイプから水が流れ出しているコンクリートのタンクを発見！これは昭和四十年代に行われたボーリングの跡ではないかと考えた私たちは周りを調べました。



・温泉の跡を発見！

なかなか見つからず、「もう跡も無くなってしまったのだ」とあきらめかけたとき、壊れた小屋や石垣を発見！私たちは付近の写真を取り現地調査を終了しました。



・更に調査を続行

発見の年代はわかっていますが宗良親王の臣、渋谷三郎が発見したと伝えられているそうです。残っている石仏から明治以前にも人の往来があったと思われる。明治三十一年九月の洪水で小渋湯は流されてしまいましたが大正三年に三階建の宿泊施設が建ちました。多いときには百人泊まった事もあるそうで、飯田の方からも湯治に訪れる人がいたそうです。

小渋湯は頭痛、胃痛、皮膚病などに効果があり、お母さんが子どもを連れて湯治に来ることも頻繁にあったそうです。
昭和二十二年に火事で建物が焼け、その後昭和三十三年に営業を再開しましたが現在では朽ち果てた建物の跡しか残っていません。

・調査を終えて

現地調査の結果は温泉施設の跡と鉱泉がタンクより流れ出ているだけでしたが、調査の結果山奥の秘湯どころか広く知られた何十人も宿泊できた温泉施設があったことが判明し、大鹿村の歴史と奥深さを感じました。

参考資料

大鹿村誌

公民館報「おゝしか」復刻版

火事で焼失する前の小渋湯（左）と
現在の様子（右）



お知らせ

小渋川砂防出張所管内の工事で伐採された木を希望者に配布致します。11月27日前後を予定しておりますが、詳細については村内放送にてお知らせ致します。

工事現場の紹介

平成18年度天竜川水系
七釜第2砂防堰堤工事用道路工事



(株)トライネット
現場代理人
熊谷洋平

ただいま釜沢地先において、工事用道路工事を行っています。現場で作ったコンクリートブロックを積み上げて土を盛り、道路をつくっています。

無事故で工事が完了できるように最後まで気を引き締めて頑張りたいと思います

施工：株式会社トライネット
現場事務所電話：0265-39-1138

